

法政大学大学院経営学研究科

研究指導計画

(修士課程・夜間)

【研究指導体制】

- ・ 1 年次は、コースに所属する教員の指導の下、研究テーマを決定させる。
- ・ 研究テーマにもとづき、コース教員による合議のうえで 2 年次の指導教員を決定する。
- ・ 2 年次は、指導教員の論文指導科目を履修させ、学位論文の審査基準を満たす修士論文が作成できるよう、研究指導を行う。
- ・ 研究指導は、指導教員による指導のほか、コースに所属する教員による集団指導を並行して行う。
- ・ 集団指導の手法として、コース毎に中間報告会を行い、研究の進捗状況の管理や、論文作成に向けた指導を行う。

【1 年次】

「4 月」

- ・ コースに所属する教員の指導のもとに、各コースに設定されたコース選択必修科目（ワークショップを含む）を履修させ、必要に応じて、コース共通科目として設定されている基礎科目等を履修させる。
- ・ 必要に応じて、経営学専攻修士課程・昼間の設置科目を履修させる。ただし履修できるのは 2 科目までであり、選択科目として修了所要単位に算入することができる。
- ・ 研究倫理教育である e ラーニング（eL-Core）の修了証を提出させる。

「4 月～1 月」

各コースの所属教員が集団指導や個別の指導および助言を行い、各自の研究テーマを決定させ、研究計画を作成させる。

「10 月～2 月」

- ・ 研究テーマにもとづき、各コースの教員による合議のうえ、2 年次の指導教員を確定する。

【2年次】

「4月」

- ・ 論文指導科目として各コースに設置されている「演習」を履修させ、指導教員による研究指導を開始する。
- ・ 1年次に引き続き、コース共通科目として設定されている基礎科目等を履修させるとともに、各コースに設定されたコース選択必修科目を履修させる。
- ・ 必要に応じて、経営学専攻修士課程・昼間の設置科目を履修させる。ただし履修できるのは2科目までで、選択科目として修了所要単位に算入することができる。

「4月～12月」

- ・ 指導教員が、修士論文の作成に向けた研究指導を行う。
- ・ 指導教員の個別指導のほか、コース所属教員による集団指導も並行して行う。
- ・ テーマおよび研究計画の再検討、先行研究の調査、研究内容と方法の決定、データの収集・分析と結果の検討、論文の執筆の指導を、指導教員による個別指導とコース所属教員による集団指導とで行う。
- ・ 個別指導および集団指導の具体的な内容は、各コースの演習シラバスに従う。

「4月～11月」

- ・ 各コースで中間報告会を開催し、途中経過を確認するとともに、論文作成のための集団指導を行う。
- ・ 中間報告会の時期は、各コースの演習のシラバスに従う。

「10月」

- ・ 所定の日程までに修士論文予備登録をさせる。

「12月～1月」

- ・ 所定の日程までに修士論文を提出させる。
- ・ 所定の日程に口頭試問による最終審査を行う。